# PUBLICITY NEWS 95 学院広報 2016.1.6

## 平安女学院がマスコミに報道されました！！

## 平安女学院高校で主権者教育

### ～4党の国会議員を招き、高校生と異色の討論会～

京都新聞
2015. 10. 17

国会議員に対し、積極的に質問する生徒たち。「生の声を聞いて、政治が近くなった」と感想を述べる生徒もいた（1日、京都市上京区・平安女学院高）

政治を身近に試み始まる

高校リポート

高まる主権者教育の重要性

来夏の参院選から選挙権年齢が18歳以上へと引き下げられることを受け、高校での主権者教育の重要性が高まっている。京都府内の高校では、現実の政治課題を題材にする試みもあった。平安女学院高（京都市上京区）で1日に行われた国会議員4人による討論会では、参加した約1400人が熱心に質問し、意見を述べた。（藤松奈美）

「憲法国にあり」、福島の事故も経験していながら、なぜ再稼働なのか」

原発の再稼働問題へ生徒は率直な疑問を投げかけた。議員は「再生可能エネルギー開発に時間がかかる」「経済発展のため、40年で原発がなくなるめいずれは減る」と理解を求めた。だが、別の生徒は「私たちの世代につけを残そうとしている」と、安全な福島発電所が設置しやすい政策を進め」と訴えた。

政治的中立性に配慮

討論会にあたり、高校は政治的中立性を保つよう配慮した。8月下旬に各党の京都府支部に「できれば参院議員を派遣してほしい」と趣旨説明を加えた依頼文を送付。期限の9月10日までに全党から参加の返事があった。

参院からは、自民党の二之湯智議員、民主党の福山哲郎議員、共産党の倉林明子議員が参加。公明党は京都選出の参院議員がおらず、竹内譲衆院議員が出席した。

取り組みには議員も肯定的だった。二之湯議員は「質問などないと思っていたが、多くの手が挙がり、高校生もしっかり考えているんだなと思った。未来の納税者がしっかり選挙で意志を示してほしい」と話した。福山議員は「多岐に渡るテーマが出て問題意識の高さを感じた。各党呼ぶのはチャレンジな試みだったと思うが、他校でも広まれば、18歳選挙権は非常に意味があると思う」と述べた。

京の国会議員４人討論会

### 女子高生ら安保法問う

平安女学院 投票へ「興味湧いた」

安全保障関連法などについて国会議員に率直な意見をぶつける生徒たち（京都市上京区・平安女学院高）

選挙権年齢の18歳以上への引き下げを受け、平安女学院高（京都市上京区）で1日、京都選出の参院議員らの討論会が開かれた。3年生100人が参加し、9月19日の参院本会議で成立した安全保障関連法について質問や意見をぶつけた。

政治に関心を高めてもらうため、同高が開いた。自民党の二之湯智参院議員、民主党の福山哲郎参院議員、公明党の竹内譲衆院議員、共産党の倉林明子参院議員が登壇し、各党の政策や考え方を話した。

生徒からは、安保法について「1つの法案なのに与党と野党で全く主張が違うのはなぜか」「新聞によって伝え方が違い何が正しいか分からない」「憲法の解釈を大幅に変えてまで安倍首相は何をしたいのか」などの率直な質問が出た。各議員は「中国に対し防衛体制や抑止力を高めるため」「米国と協力し体制を強める」「戦争に参加する法律」「憲法違反」と答えた。

生徒からは「デモがたくさん起きているのに、国民の声が国会で反映されていないのでは」「自衛隊を希望する人は減ると思う」などと厳しい指摘も出ていて反対する理由を教えてほしい」という声もあった。

女性の社会進出や原発、地方創生といったテーマなどについても、各党のマニフェストと現実社会との隔たりを指摘する意見が相次いだ。

質問した石田菜奈さん（17）＝大津市＝は「自分と主張の違う意見も直接聞くと納得できるものもあった。ますます政治に興味が湧いたので、参院選に向けしっかり勉強したい」と話していた。（藤松奈美）

京都新聞
2015. 10. 2

## 平女高生が、山ばな平八茶屋21代目の園部晋吾さんから和食づくりを伝授

BS朝日「千年の都 京都の秋 十代続く老舗を訪ねて」2015. 12. 8

## 平女高生が製作した妖怪人形が大将軍商店街のイベントに“出演”

京都新聞2015.10.17

平安女学院高生が制作

### 妖怪人形 楽しんで

大将軍商店街 きょう仮装行列・展示

平安時代、捨てられた古道具が妖怪になって夜の一条通を歩いたという伝説に基づき、京都市上京区の大将軍商店街で17日、妖怪の仮装行列や、高校生が作った妖怪人形の展示などが行われる。

妖怪伝説で商店街の活性化を図る毎年恒例のイベント。今年は、区内の平安女学院高の1年生が作った妖怪人形8体が、一条通下ノ森西入のビル「妖怪ソーホー」で展示される。

商店街の8店と連携し、9月から1カ月半かけて制作した力作ぞろい。パン店に着想を得て口がサンドイッチになっている妖怪や、金物店をイメージして手を日本刀にした妖怪などが並ぶ。

高齢女性の妖怪人形を作った中村梨沙さん（16）は「しわを演出するのが難しかった。面白がるとともに、怖がってもらえれば」と話す。展示は午前10時から午後5時まで。行列は午後6時半に御前一条を出発する。（浅井佳穂）

イベントを前に、妖怪人形を陳列する平安女学院高の1年生たち（京都市上京区・妖怪ソーホー）